

科目名	世界史探究	単位数	2 単位	実施予定授業数	70 時間
-----	-------	-----	------	---------	-------

☆学習の到達目標

学習の 到達目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。 (1) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 【知識・技能】 (2) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【思考力・判断力・表現力】 (3) 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。 【主体的に学習に取り組む態度】
使用教科書・ 副教材 等	教科書 世界史探究「詳説世界史」 山川出版 世界史用語集 山川出版 最新世界史図説 タペストリー 帝国書院 新世界史要点ノート 応用編 啓隆社

☆学習計画および評価方法

学期	学習内容	月	学 習 の ね ら い (評価規準)	時数
第 1 学期	導入 歴史の扉 第 I 部 諸地域の歴史的 特質の形成 第 1 章 文明の成立と古代	4	学習方法、探究活動の進め方、課題、評価の仕方についての指導。 第 I 部諸地域の歴史的特質の形成 古代文明や諸地域の古代史の歴史的特質が形成されていく過程とその多様性を学ぶ。 課題を追究したり解決したりする活動を通して次の事項を身につけている。 ア 各地で成立したそれぞれの異なる文明を理解し、他の文明との関係を持たせながら理解を深める。中央、東、南アジア各地の古代史を理解する。	28
	第 2 章 中央ユーラシア と東アジア世界	5	【知識・技能】 イ 資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけている。 【知識・技能】	
	第 3 章 南アジア世界と 東南アジア世界 の展開	6	ウ 古代文明の成立背景、中央、東、南アジア各地の古代史について社会、宗教、文化に着目させてそれぞれの特質や課題について考察し、問いを表現できる。 【思考力・判断力・表現力】 エ 古代文明成立、中央、東、南アジア各地の古代史に関する課題について主体的に追究し、よりよい社会の実現に寄与する態度を養おうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	
	【知識・技能】 ①定期考査（80%）…考査問題の中で人物名などの用語や事柄の前後関係など、基本的な知識について扱う部分を評価の対象とする。 ②課題プリント（20%）…資料から情報を読み取り、まとめる課題プリントを課し、内容や提出状況を評価の対象とする。			
【思考・判断・表現】 ①定期考査（60%）…考査問題の中で、歴史的事柄の背景や影響などについて考察・論述する問題や、複数の資料から考察したり判断したりする問題を課し評価の対象とする。 ②プレゼンテーション（40%）…歴史的事柄の背景や影響について考察し、発表する活動を評価の対象とする。				

	【主体的に学習に取り組む態度】 ①自己評価(20%)…学期末に行う授業に対する取り組みについての自己評価を評価の対象とする。 ②課題プリント(40%)…課題プリントの内容や提出状況を評価の対象とする。 ③プレゼンテーションの相互評価(40%)…発表活動の内容やその際の相互評価を評価の対象とする。 【1学期の評価方法】 「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ数値化し、各観点を40%：40%：20%の割合で総括し、10段階評定とする。			
学期	学習内容	月	学 習 の ね ら い (評価規準)	時数
第2学期	第Ⅰ部 諸地域の歴史的 特質の形成 第4章 西アジアと地中海 周辺の国家形成	7 8	第Ⅰ部 諸地域の歴史的 特質の形成 西アジア、地中海周辺世界、イスラーム教成立、ヨーロッパ世界の形成について諸地域の歴史的 特質が形成されていく過程とその多様性を学ぶ。 課題を追究したり解決したりする活動を通して次の事項を身につけている。 ア 西アジア・地中海世界・西ヨーロッパ世界の成立を理解し、他の地域との 関係を持たせながら理解を深める。 【知識・技能】 イ 資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけている。 【知識・技能】 ウ西アジア・地中海世界・西ヨーロッパ世界の成立に関して、社会、宗教、 文化に着目させてそれぞれの特質やや課題について考察し、問いを表現で きる。 【思考力・判断力・表現力】 エ西アジア・地中海世界・西ヨーロッパ世界に関する課題について主体的に 追究し、よりよい社会の実現に寄与する態度を養おうとしている。 【主体 的に学習に取り組む態度】	30
	第Ⅱ部 諸地域の 交流・再編	10	第Ⅱ部 諸地域の交流・再編	
	第6章 イスラームの伝 播と西アジアの 傾向	11	第Ⅰ部の学習を踏まえて西アジアに成立したイスラーム世界。「世界の一体 化」の先駆けとなったモンゴル帝国の発展。地球規模の交易がもたらした アジア諸地域の繁栄はやがてヨーロッパ諸国の海外進出や内部の変 革をもたらし、16世紀以降本格的な「世界の一体化」が始まりアジア 諸地域とヨーロッパの再編が促されていく事を理解する。	
	第7章 ヨーロッパ世界 の変容と展開		ア イスラーム世界の伝播、西ヨーロッパの封建社会とその展開、アジア世 界の展開を理解しているか 【知識・技能】 イ資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけている。 【知識・技能】 ウ イスラーム世界・ヨーロッパの封建社会の発展の背景に着目させてそれ ぞれの特質やや課題について考察し、問いを表現できる。 【思考力・判断力・表現力】 エ イスラーム世界が与えた影響力・ヨーロッパの封建社会の変容について 主体的に追求してよりよい社会の実現に寄与する態度を養おうとしてい る。 【主体的に学習に取り組む態度】	
	【知識・技能】 1学期と同様			
	【思考・判断・表現】 1学期と同様			
【主体的に学習に取り組む態度】 1学期と同様				
【2学期の評価方法】 1学期と同様				

3 学 期	第Ⅱ部諸地域の 交流・再編 第8章 東アジア世界の 展開とモンゴル 帝国	12 1	ア 東アジア世界の展開とモンゴル帝国・明帝国がもたらした世界の一体化 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容を理解したか。 【知識・技能】 イ資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身につけている。 【知識・技能】 ウ アジア世界がもたらした世界の一体化とヨーロッパの海洋進出に着目さ せてそれぞれの特質や課題について考察し、問いを表現できる。 【思考力・判断力・表現力】 エ アジア世界のもたらした世界の一体化とヨーロッパの海洋進出を主体的 に追究し、よりよい社会の実現に寄与する態度を養おうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】	12
	第9章 大交易・大交流 の時代	2		
	【知識・技能】 1学期と同様			
	【思考・判断・表現】 1学期と同様			
	【主体的に学習に取り組む態度】 1学期と同様			
【3学期の評価方法】 1学期と同様				
【年間の学習状況の評価方法】 各学期の「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」について点数化したものを合計した上で、 各観点を40％：40％：20％の割合で総括し、年間の5段階評定とする。				